

1・19 岐阜総がかり行動 ～第30弾～

今の日本は平和？未来は安心？

— 私たちは戦争しません —

◆ 10：30～ 清水緑地公園（岐阜市）にて集会

司会：青木 眞理

みんなで歌おう♪

軟弱もの

作詞：笠木透／作曲：増田

1. この国を守るために

軍隊がなくてはならないとしたら
軍隊がなくては滅びてゆくとしたら
滅びてゆこうではないか

※ 私たちはどんなことがあっても 戦力は持たない
私たちはなんとわれようと 戦争はしない

2. この国を守るために

核兵器がなくてはならないとしたら
核兵器がなくては滅びてゆくとしたら
滅びてゆこうではないか

※ くりかえし

3. 軟弱ものと笑うがいい

非暴力で滅びた国があったと
無抵抗で滅びた人々がいたと
愚かにも滅びていったと

※ くりかえし

4. この国を守るために

戦争をしなければならぬとしたら
戦争をしなければ滅びてゆくとしたら
滅びてゆこうではないか

※ くりかえし

- ・ 岐阜総がかり行動実行委員会（代表） 仲松 正人
- ・ 戦争をさせない1000人委員会岐阜県実行委員会（共同代表） 子安 英俊
- ・ 憲法9条を守る岐阜県共同センター（代表） 近藤 真

・ 集会アピール 採択

読み上げ：嗟峨崎 聖子

《ボード掲げアピール》

デモ説明：戸田 二郎

◆ 11：10～ 市内デモ

清水緑地公園 → JR 高架下 → 名鉄岐阜駅前 → 長良橋通り → (左折) 徹明通り → 金公園・からくり時計(解散)

<コール> リズミカルに元気よくいきましょう！

A ・ 9条壊すな 平和が大事
・ 軍事費膨張 暮らしが危ない
・ いのちを守れ 戦争反対

B ・ 物価上昇 生活できない
・ 教育・福祉に 予算を回せ
・ 暮らしを守れ 平和を守れ

C ・ 核禁止条約 今すぐ参加
・ 原発いらぬ 核兵器なくせ
・ 核ない世界 みんなで実現

D ・ 辺野古新基地 建設反対
・ ミサイルいらぬ トマホーク買うな
・ 南西諸島 要塞化反対！

E ・ 子どもを殺すな 虐殺やめろ
・ ガザに平和を 完全停戦
・ すべての戦争 今すぐ停戦

F ・ 壊すな 侵すな 市民の自由
・ 憲法変えるな 政治を変えよう
・ 声を上げよう 選挙に行こう

今の日本は平和？未来は安心？ 1・19集会アピール（案）

新しい年が明けました。でも、ロシアのウクライナ侵攻は終わらないままです。イスラエルのガザ攻撃も続いています。寒い冬を迎えても、爆弾や飢えで苦しみ、死んでいく子どもたちがいます。ウクライナもガザも平和ではありません。

今年は「戦後80年」。つまり日本は80年間戦争をしないできました。戦争をしていないことが平和だとすれば、日本は平和です。

でも、戦争をしていなければ平和なのでしょうか。今後戦争になるかもしれないということであれば、平和とはいえないのではないのでしょうか。

「中国は台湾を統一するため武力侵攻する」、いわゆる「台湾有事」が起こると喧伝されています。台湾有事が起これば距離的に近い南西諸島は戦場になるとして、南西諸島のミサイル基地化・軍事要塞化が進められています。アメリカが中国と戦争をすれば、日本はアメリカのために戦争に加わります。それが集団的自衛権であり、今からちょうど10年前の9月、そのための法律が整備されました。

こうして米軍と自衛隊は、いつでも戦争になってもいいようにと、大規模な共同軍事訓練を繰り返し行っています。日本政府は、日本のどこからでも中国の内陸部まで届くような長距離ミサイルを配備しようとしています。日本が攻撃されても自衛隊だけは生き残って戦争が続けられるようにと、自衛隊基地の強靱化を進めています。さらには自衛隊基地だけでなく、民間の空港や港をいつでも戦争に使えるように整備しようとしています。

いつ戦争になってもいい～それは平和とはいえないのではないのでしょうか。そもそも台湾有事は本当に起こるのでしょうか。台湾に軍事侵攻しても中国には何の得もありません。ましてや日本やアメリカが中国を攻撃しない限り、中国が日本を攻撃する理由はどこにもありません。

戦争準備はやめましょう。戦争準備のために増税してまで莫大な防衛費という名の軍事費をつぎ込むことはやめませんか。

そして考えましょう。そもそも戦争をしていない、あるいは戦争準備をしていないだけが平和なのか。明日の生活の心配をしなくてもいい、子どもたちが安心して健康的な生活が送れる、高齢者も我慢せずに生活できる、学生が勉強時間を削ってまでアルバイトしなくてもいい、働くことも喜びになる、そういうことが本当の平和ではないのでしょうか。

戦争はしない、戦争準備もしない、一人一人が大切にされる、そのためにみんなで声を上げましょう。行動しましょう。

2025年1月19日

岐阜総がかり行動－第30弾－参加者一同